

「九州の未来力 2030」第 8 回会合における座長からの提言

国土形成計画（全国計画）閣議決定を評価し、新しい国土づくりに九州からの貢献度を高めていく。とりわけ、九州圏広域地方計画の基本的な考え方として、「アジアの成長力を引き込む日本の成長センターとなって、わが国の経済成長に貢献することを目指し・・・」と明記されたことで、九州の国内における位置づけは、「アジアゲートウェイ九州」として大きくクローズアップされることとなった。

このことは、九州の未来を考えるうえで、極めて重要な転機を意味しており、地方創生の九州モデルとして大いに期待される。「九州の未来力 2030」では、引き続き「九州圏広域地方計画」の策定と実現に向けて、次の 3 つについて議論を深めた。

特に「『5 つの戦略』の具体化」については、財政、組織ともども、さらなる検討が必要であり、ここに座長アピールを発表し、各界の議論を喚起したい。

1. 計画の実現に向けた「5 つの戦略」の具体化
2. 震災対策、東京一極集中是正対策としてのアジアビジネス拠点の形成
3. ゲートウェイインフラの民営化促進

平成 27 年 9 月 9 日

九州の未来力 2030

座長 森本 廣